
本メールは日本臨床検査医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.59 です。

===== 目次 =====

【お知らせ】

- 【1】 会員動向 (2003年 5月 30日現在数 654名, 専門医 446名)
- 【2】 平成15年度 第21回 日本臨床検査専門医会振興会セミナー開催のお知らせ
- 【3】 平成16、17年度、日本臨床検査専門医会会長・監事選挙
- 【4】 会費の振り込みについて

【最新トピックス】

- 【1】 世界の中の日本 - その1 -
- 【2】 世界の中の日本 - その2 -
- 【3】 井戸水とヒ素中毒
- 【4】 SARSのビデオオンディマンド学習サイトの紹介

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月1日号から】

大学病院のプランチラボ、質的確保が新たな課題
 日本臨床検査専門医会 「テーラーメイド健康管理」を提唱
 国立大学検査技師会 独法化後の検査薬の共同購入などの是非を確認
 江東微生物研究所 ISO9001、同15189の監査終了
 シスメックス 東芝と共同で微侵襲血糖自己測定技術を開発
 プロメガ ろ紙を使用し簡単、迅速にDNAを抽出
 女子医大病院中検 SRLグループと共同でプランチラボ稼働

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月11日号から】

「医療情報部」の看板消える 6大学に予算措置
 神臨技 「じんりんぎ大学校」9月1日開校へ

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月21日号から】

厚生労働省 独法化後の国立病院等に「臨床評価指標」を導入
 群馬大・酒巻教授 DPCは入院1～3日の評価低い
 全国大学病院病理部連絡会議が設立
 オーソ 未来型臨床検査システムを提案
 公立松任石川中央病院中央検査室 NST病棟回診参加

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-1】

会員動向 (2003年 5月 30日現在数 654名, 専門医 446名)
 新入会員
 森山 耕成 先生：福岡歯科大学総合医学講座内科学分野

大林 光念 先生：新潟大学医学部附属病院検査部

中居 恵子 先生：岩手医科大学臨床検査医学講座

所属変更

高木 芳武 先生：旧；北海道大学 病態・分子病理学

新；(株)ジェネティックラボ 病理解析センター 病理診断部

田口 和三 先生：旧；昭和大学医学部臨床病理学教室

新；昭和大学藤が丘病院臨床病理科

渡辺 昌俊 先生：旧；三重大学医学部病理学第二講座

新；横浜国立大学大学院工学研究院 医工学

中井 利昭 先生：旧；筑波大学臨床医学系臨床病理

新；株式会社三菱化学ビーシーエル、学術部顧問

岡部 龍也 先生：旧；日本大学医学部第二内科

新；社会保険八王子健康管理センター

岸川 正大 先生：旧；諫早総合病院病理

新；長崎病理診断研究所 所長

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-2】

平成 15 年度 第 21 回 日本臨床検査専門医会振興会セミナー開催のお知らせ
以下の日程、演題で開催する予定です。会員の皆様方もふるってご参加ください。

講演予定：

会場：東京ガーデンパレス

日時：平成 15 年 7 月 11 日、午後 2 時～午後 5 時

予定演題：

包括医療（DPC）に向けた臨床検査の対応

—どうなる、どうする臨床検査—

演者：

1) 特定機能病院の立場から； 信州大学 勝山 努 教授

昭和大学 高木 康 教授

2) 臨床検査技師の立場から； 北福島医療センター 大河内 芳美 氏

3) 厚生労働省の立場から； 厚生労働省保険局医療課

企画官 矢島 鉄也 氏

午後 5 時 30 分

日本臨床検査専門医会 振興会 情報交換会

【お知らせ-3】

平成 16、17 年度、日本臨床検査専門医会会長・監事選挙の準備を進めております。

近日中に投票用紙、会長候補者名簿、監事被選挙人名簿をお届けします。

かならず投票を御願いたします。

【お知らせ-4】

会費の振り込みについて

今年度も 6 ヶ月になろうとしています。今年度会費の振り込みがまだの会員の先生は会費の振り込みを御願いたします。

支払い状況が不明の先生は FAX、または E-mail で事務局までお問い合わせください。

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-1】世界の中の日本 - その 1 -

スイスの銀行 UBS が発刊している「世界の価格と賃金」という小冊子(2000 年版)で世界の大都市を種々の要素から比較している。それによるとジュネーブを 100 として世界で最も物価の高い都市は、1 位が東京 140.1、2 位がオスロ 105.0、3 位がニューヨーク 103.8、4 位がシカゴとチューリッヒ 100.0 であった。

賃金(サラリー)についてみると、1 位が東京 109.4、2 位がニューヨーク 100.2、3 位がチューリッヒ 100.0 であった。他の都市では、コペンハーゲンが 5 位で 92.4、ベルリンが 14 位で 70.3、ロンドンが 16 位で 64.1、パリが 21 位で 57.0、ソウルが 27 位で 43.7、バンコックが 49 位 10.6、上海が 51 位 8.5、ジャカルタが 56 位で 4.1 であった。公共機関(バスや電車)の運転手の賃金を比較すると、1 位がチューリッヒ 50,800 米ドル、2 位が東京 46,800 ドル、3 位がジュネーブ 40,900 ドル、4 位がシカゴ 40,700 ドルとなっている。他の都市では、ロンドン 21,900 ドル、パリ 19,800 ドル、ソウル 21,400 ドル、メキシコシティ 4,200 ドル、上海 3,000 ドル、ジャカルタ 1,000 ドルなどである。日本を代表している東京は賃金も高いが物価も高いことがわかる。(獨協医大越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-2】世界の中の日本 - その 2 -

スイスの銀行 UBS が発刊している「世界の価格と賃金」という小冊子(2000 年版)では、世界の大都市を様々な要素から比較している。年間の就労時間に関しては、アジア地域では長く、クアラルンプールが 2,217 時間、香港が 2,181 時間、台北が 2,176 時間、東京が 1,864 時間と長くなっているのに対し、ヨーロッパ地域では短く、パリが 1,587 時間、ベルリンが 1,666 時間、ロンドンが 1,833 時間となっている。自動車の価格(車種が各国で異なるが)について比較すると価格の高い都市は、1 位がシンガポール 65,500 米ドル、2 位がカラカス 38,200 ドル、3 位が香港 29,700 ドルの順となっている。レストランの食事代は、1 位が東京で 66 ドル、2 位がモスクワで 52 ドル、3 位がニューヨークで 49 ドルとなっている。ホテル代に関しては、1 位がロンドン 450 ドル、2 位がニューヨーク 430 ドル、3 位が東京 400 ドルとなっている。東京は就労時間は短くなってきたが、サービス残業などもあるようだ。レストランの食事代やホテル代に関しても東京は高い。(獨協医大越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-3】井戸水とヒ素中毒

井戸水の高濃度のヒ素の摂取によりヒ素中毒の危険が、中国(山西省汾陽市、内モンゴル自治区包頭市、新疆ウイグル自治区、貴州省など)、インドの西ベンガル地方、バングラデシュなどでみられ、約 8,000 万人の人が危険にさらされているといわれる。緊急な対策が求められている。慢性ヒ素中毒症は、まず手や足の裏の角化、色素沈着など皮膚症状が現れ、症状が進むと皮膚ガンや内臓障害をおこす。バング

ラデシュでは総人口の約 5 割に当たる 6,000 万人が影響を受けていると考えられている。

住民の調査専門委員会よれば、6 歳以上 60 歳代までの 27 人のうち、バランスよく歩けない協調運動障害が 10 人、立ち上ってまっすぐ歩けない起立歩行障害が 5 人、手などの細かなふるえやけいれんが 8 人に見つかった。幼児 2 人に言葉の遅れや運動能力障害がみられた。尿検査に応じた 28 人全員から、有機ヒ素化合物「ジフェニルアルシン酸」が検出された。

(獨協医大越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【SARS のビデオオンディマンド(VOD)学習サイトの紹介】

米国疾病管理予防センター CDC では SARS 情報の動画配信を行っています。

<http://www.cdc.gov/ncidod/sars/training.htm>

日本感染症学会(<http://www.kansensho.or.jp/>)では SARS の情報を公開しています。

< 第 77 回日本感染症学会総会 > 動画配信 緊急報告「SARS」(2003.4.18 福岡)

<http://www.kansensho.or.jp/information/soukai/77soukai.html>

(編集主幹:横浜市大 満田年宏)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5 月 1 日号から】

大学病院のブランチラボ、質的確保が新たな課題

高度医療機関での検体検査の院内委託(ブランチラボ)への危機感が、臨床検査医の中で広がっている。4 月 19 日、山形市で開かれた第 13 回日本臨床検査専門医会春季大会(富永真琴大会長、山形大学医学部教授)のシンポジウムで、ブランチラボを導入した昭和大学横浜市北部病院が、契約先の検査センターに対し受託責任者の交代措置を要求したことを明らかにした。同院は、検査センターからの出向検査技師に対する教育研修体制の整備、大学病院検査部の機能を踏まえた患者中心主義への意識改革などを進めているとした。

日本臨床検査専門医会 「テーラーメイド健康管理」を提唱

臨床検査医は、予防医学に特化した「テーラーメイド健康管理」という診療概念をもつ新たな診療科「総合健康科(仮称)」の開拓を目指す - 日本臨床検査専門医会(河野均也会長)未来ビジョン委員会の中に設置した「検査専門医による新診療科開拓ワーキンググループ(チーフ・谷直人氏)」が、ひとつの検査医の進むべき方向として提言した。

国立大学検査技師会 独法化後の検査薬の共同購入などの是非を確認

全国国立大学臨床衛生検査技師会(大澤進会長:千葉大学病院)はこのほど、2004 年度からの独立行政法人化を踏まえ、文部科学省に対して業務環境の改善にむけ要望書を提出した。同技師会は、これま

でも毎年要望書を提出してきたが、今回は独法化を視野に検査試薬の共同購入や検査機器のレンタル、リース契約の導入などを新たな選択肢のひとつとしていけるか解釈を求めている点がポイントだ。

江東微生物研究所 ISO9001、同 15189 の監査終了

江東微生物研究所はこのほど、CAPの臨床検査ラボ認定を取得、ISO9001、ISO15189の監査を終了したと発表した。CAP（米国臨床病理医協会）の臨床検査施設認定は、総合ラボの微研中央研究所つくばにおいて今年1月27日に取得したもの。このほど米国CAP本部から認定書が届いたという。

シスメックス 東芝と共同で微侵襲血糖自己測定技術を開発

シスメックスはこのほど、東芝と共同で微侵襲血糖自己測定技術を開発したと発表した。同社の微侵襲組織液抽出技術と、東芝の光センシング技術を組み合わせた微侵襲血糖自己測定技術は、現在行われている血液中に含まれるグルコース量を測定するのではなく、組織液に含まれるグルコース量を測定する。そのため、指先などを穿刺して採血する必要がないため、会社では、患者のQOLの向上が図られると考えている。

プロメガ ろ紙を使用し簡単、迅速にDNAを抽出

簡単な操作で迅速にDNAを抽出できるコットンリントー製のろ紙がこのほど、遺伝子・細胞工学分野の試薬などを販売するプロメガから発売された。新製品は、ドイツ・S&S社製のDNA保存カード「アイソコード（IsoCode）」。血液や唾液などの生物試料に対応し、サンプルの長期保存も常温でできる。精子や毛根、骨、筋肉などの細胞や、細菌、酵母などからも可能。さらに、一度精製したDNAそのものにも使用できる。DNAの抽出にはカードタイプ、スティックタイプがある。

女子医大病院中検 SRLグループと共同でプランチラボ稼働

東京女子医科大学病院の中央検査部はこのほど、民間検査センターのSRL、SRLラボクリエイトと共同で検体検査部門の院内業務委託（プランチラボ）事業を開始した。同大学病院の検査体制は、中央検査部のほかに、疾患別センター制のもとに直轄の検査技師を配置していた。その人員数は総勢293人にのぼり、国内で最多の検査関係職員をかかえる組織だ。その中央検査部体制の改革は、総合外来センター開設構想とともに分散する検査の組織統合・マネジメントの一本化などを柱に進められてきた。

【MTJ（The Medical & Test Journal）5月11日号から】

「医療情報部」の看板消える 6大学に予算措置

国立大学病院の「医療情報部」の看板が、今年度中に6大学病院から消える。文部科学省は、本紙の

取材に対し「医療情報部は、従来の医療情報という電算化から抜け出して、病院経営への貢献などが求められている。2003年度予算として6大学病院に医療情報部の改組構想を踏まえ新組織設定の予算措置を認めた」ことを明らかにした。国立大学病院は、来年度からの独立行政法人化にむけ特長のある病院創りが急務となっている。

今年度予算措置をうけた病院は、名古屋大学病院、東京大学病院、旭川医科大学病院、東北大学病院、山梨大学病院、熊本大学病院 - の6つ。

神臨技 「じんりんぎ大学校」9月1日開校へ

神奈川県臨床衛生検査技師会は、「じんりんぎ大学校」の9月1日開校に向けて準備が進められている。じんりんぎ大学校は、神臨技の生涯教育の一環として社会的、全人的な臨床検査技師の養成を目的にしている。大学は、神臨技事務局と同じ横浜市南区真金町に設置、校長には元神臨技会長の鈴木節子氏が就任する。

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月21日号から】

厚生労働省 独法化後の国立病院等に「臨床評価指標」を導入

厚生労働省健康局国立病院部は、来年4月からの独立行政法人化にむけて、すべての国立病院・療養所およびナショナルセンターを対象に、この5月から2か月間の予定で同省の臨床評価指標検討会がまとめた臨床評価指標(クリニカル・インディケ이터)を検証するためのトライアルに踏み切った。8月末までにトライアルの結果をまとめ、独法化後の144か所の国立病院・療養所に導入する臨床評価指標を絞り込む。臨床評価指標は、医療の質改善に役立てるための数値目標で、国立病院などの公的病院グループが一斉に臨床評価指標の概念を導入するのは初めて。

群馬大・酒巻教授 DPCは入院1～3日の評価低い

4月から診断群分類による包括評価制度を導入した群馬大学医学部附属病院医療情報部の酒巻哲夫教授は5月10日、都内で開かれたDPC(診断群分類)実践セミナーで、現行のDPC制度では極めて短期の入院(1～3日間)についての評価が低いうえ、在院期間が特定入院期間を超えると出来高払いに移行するなど、制度として中途半端な部分が多いとして、今後、見直していくべきだと指摘した。

全国大学病院病理部連絡会議が設立

全国大学病院病理部連絡会議が、4月25日、福岡市で設立された。25日は、23日から同市で開催されていた日本病理学会総会会期の最終日。同連絡会議を招集した長村義之氏(日本病理学会副理事長・病理医専門部会会長、東海大学医学部副学部長、同大学病理学教授)は、「今回の特定機能病院等への包括評価の導入など医療制度改革の流れのなかで、国公私立大学病院が同じフィールドで(経営主体を超えて)協議あるいは情報交換していく必要性が高まっている。学会開催にあわせて会議を継続的に開

くことで合意した」と述べた。

オーソ 未来型臨床検査システムを提案

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックスは5月15日、未来型クリニカルラボとドクターズオフィスを備えたショールーム「エクスペリエンスセンター」を同社内にオープンした。同社は、医療機関に対してリアルタイム診療による外来機能の充実を提案している。特に臨床検査領域においては、短時間で検査結果が得られれば、初診日から検査結果をもとにした診療が受けられるといった医療の効率化が図れる。展示されている。

公立松任石川中央病院中央検査室 NST病棟回診参加

病院の栄養サポートチーム(nutrition support team: NST)に臨床検査部門が本格的に参加する動きがでてきた。そのひとつが石川県松任市の公立松任石川中央病院(305床、1日の外来患者650~700人)中央検査室(高島外美子室長)だ。NSTチームの一員である検査技師は、毎週2回、チームメンバーとともに外科病棟などに出向き、医師の指示のもとに患者の栄養指導あるいは在宅療養への食事指導などを適切にサポートしていく。これは臨床検査技師が、医療チームのメンバーとして病棟進出できたひとつのモデルケースといえる。

=====

JACLaP WIRE, No.59 (2003年6月6日発行)

発行: 日本臨床検査医会 [情報・出版委員会]

編集: JACLaP WIRE 編集室 編集主幹: 満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先:

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

e-mail: jaclap_wire@yahoo.co.jp

TEL: 045-787-2721 FAX: 045-786-0392

日本臨床検査医会ホームページ: <http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー: <http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております!

メーリングリスト配信先の変更には

1. 氏名, 2. 現行登録アドレスと 3. 変更希望メールアドレスを添え

てjaclap_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。
